新型コロナウイルスに関する留意事項　－R2.4.20改定－

介護老人保健施設穂 職員一同

医療法人ＢＴＦ 理事長 山田博愛

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染動向は、日々刻々と変化しているため、明確な方針を提示し難い現状ですが、A.高齢者は感染し易い　B.高齢者は重症化し易い　C.高齢者は感染易い　以上３点に十分留意しつつ、下段★の事項なども念頭に、下記注意事項を踏まえ、臨機応変に最大限に対応して下さい。

 記

①当施設及び各ユニットへ入る際に、アルコール入り消毒剤による手指の消毒を徹底する。

②その他の場面でも、まめにアルコール入り消毒剤での手指の消毒に務める。

③手すり・ドアノブ・テーブルなどのアルコール又は次亜塩素酸での消毒を適宜行う。

④マスクを装着する。

⑤イソジンによるうがいに務める。

⑥加湿を可及的に行う。

⑦換気を適宜行う。

⑧出勤前に37.5℃以上の発熱を認めた場合、又は咳や全身倦怠感などが顕著な際は、原則自宅待機とする。（判断に迷う際は当方まで連絡のこと。）

⑨出勤後不具合が生じた際は速やかに検温し、発熱が確認された際はクリニック受診するとともに、原則早退とする。

⑩当面の間、ご家族の面会は禁止とする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

★新型コロナウイルスに関して今わかっていること

●感染率は０.３％(1000人中3人)程度　●その内１/５から感染が拡大　●感染者の８０％は無症状、２０％が重症化、さらに３~５％が重篤化　●重症化するのは感染後およそ１週間程度で、突然の呼吸困難で発現　●致死率はインフルエンザの１０倍

（全世界的なおよそのデータ、国内ではもっと低い）

★一方1)なぜ日本では感染者が少ないのか2)欧米と比べて死亡者数が著しく少ないのはなぜなのか3)当地域を含め山間部で感染者がほとんど確認されていないのはどうしてなのか、など不明な点が多い現状です。【 1)に関連して当地区でも近々にﾄﾞﾗｲﾌﾞｽﾙｰ式のPCR検査センターが設置される予定です。2)3)を踏まえ冷静に過不

足なく対応していくことが肝要かと思います。又この点を掘り下げていくことが、治療薬やワクチンの開発とともに重要なのではないかと考えます。】